

## 「愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります」

「あなたたちの間に愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります」。  
ヨハネ 13:35

### 106 番の歌 愛を育む

何を学ぶか\*エホバの証人がお互いに愛を示しているのを見て、聖書の真理を学びたいと思った人は大勢います。でも私たちも完璧ではないので、兄弟姉妹に愛情深く接するのを難しく感じことがあります。では、愛がとても大切なのはどうしてでしょうか。仲間の欠点や弱点が気になる時、どうすればイエスに倣って愛を示せるでしょうか。



多くの人はエホバの証人の愛を見てどのように感じますか。（1節を参照。）

1. 集会に初めて来た人たちはどんな感想を持ちますか。（写真も参照。）

次のような場面を想像してみてください。ある夫婦が初めて集会に出席します。王国会館でみんなに歓迎され、兄弟姉妹がお互いに愛を示しているのを見て、とても温かい気持ちになります。帰り道、妻が夫にこう言います。「楽しかったね。あんないい人たち、なかなかいないよね」。

2. どんなことが原因でエホバに仕えるのをやめてしまう人がいますか。

2 確かに、エホバの証人がお互いに示している愛は素晴らしいものです。でも、完璧な人は一人もいません。（ヨハ一 1:8「自分には罪がない」と言うなら、私たちは自分を欺いているのであり、心の中に真理がありません）それで、兄弟姉妹と親しくなるにつれて相手の欠点や弱点も見えてくることでしょう。（ロマ 3:23全ての人は罪人(\*)になったので、神の栄光に達することができません(\*神の栄光を完全には反映できません））そうしたことが原因でエホバに仕えるのをやめてしまう人もいます。

3. イエスの本物の弟子は何によって見分けられますか。（ヨハネ 13:34, 35）

3 この記事の主題聖句に注目してみましょう。 (ヨハネ 13:34, 35 私はあなたたちに新しいおきてを与えます。それは、互いに愛し合うことです。私があなたたちを愛した通りに、あなたたちも互いを愛しなさい。 35 あなたたちの間に愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります) イエスの本物の弟子は何によって見分けられると書かれているでしょうか。完全さではなく、愛です。さらにイエスは、「愛があれば、全ての人は、あなたたちが私の弟子であることを知ります」と言いました。つまり、クリスチヤンだけでなくクリスチヤンではない人全ても、イエスの本物の弟子を愛によって見分けることができるということです。

4. 本物のクリスチヤンが示す愛について、どんな疑問を持つかもしれませんか。

4 エホバの証人ではない人たちは次のように思うかもしれません。「①愛によってイエスの本物の弟子を見分けられるってどういうことだろう。②イエスはどのように使徒たちに愛を示したんだろう。③イエスのような愛を示すことなんてできるんだろうか」。私たちもそうした点を考えるのは良いことです。もっと愛情深い人になり、仲間の欠点などが気になる時にも愛を示せるようになります。(エフェ 5:2 愛を抱いて歩んでいきましょう。キリストも私たち(if\*皆さん)を愛し、自分を神への犠牲、甘い香りのする捧げ物として、私たち(if\*皆さん)のために差し出してくださったのです)

イエスの本物の弟子が愛によって見分けられる、と言えるのはどうしてか

5. ヨハネ 15 章 12, 13 節でイエスはどんなことを教えましたか。

5 イエスの弟子たちの間に見られる愛は特別なものです。(ヨハネ 15:12, 13 私があなたたちを愛した通りにあなたたちが互いを愛すること、これが私のおきてです。13 友のために自分の命をなげうつこと、これより大きな愛はありません) イエスはこう言いました。「私があなたたちを愛した通りにあなたたちが互いを愛すること、これが私のおきてです」。イエスがここで言っていたのは自己犠牲的な愛のことです。聖句の続く部分から分かる通り、それは仲間のために命を差し出すほど強い愛です。\* 「来て、わたしの追隨者になりなさい」の本の第 17 章 10-11 節を参照。

6. 聖書は愛の大切さをどのように強調していますか。

6 聖書は愛の大切さを強調しています。次のような聖句が好きだという兄弟姉妹もたくさんいます。「神は愛」。(ヨハ一 4:8 愛さない人は、神をよく知りません。神は愛だからです) 「あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない」。(マタ 22:39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』) 「愛は多くの罪を覆う」。(ペテー 4:8 何よりも、熱烈に愛し合ってください。愛は多くの罪を覆う(\*愛があれば多くの罪を許せる)からです) 「愛は決して絶えません」。(コリー 13:8 愛は決して絶えません。一方、預言する能力があっても、それは除き去られます。さまざまな言語(奇跡的に別の言語を話すということ)があっても、それはなくなります。知識(奇跡的に知識を与えられるということ)があっても、それは除き去られます) こうした聖句から、愛を身に着けて示すことがとても大切だということがよく分かります。

7. サタンが本物の愛で結ばれた人たちのグループをつくれないのはどうしてですか。

7次のように思う人もいます。「どれが本物の宗教なんだろう。どの宗教も自分たちは本当のことを教えていると言っているけれど、神について教えていることはばらばらだ」。サタンは、間違ったことを教える宗教をたくさんつくって、人々を混乱させています。でも、国を超えて互いに愛し合う人たちのグループをつくることはできません。それができるのはエホバだけです。本物の愛はエホバからのもので、エホバの聖なる力と祝福を受けている人たちだけがそのような愛を示せるからです。（ヨハ一 4:7 愛する皆さん、引き続き愛し合いましょう。愛は神からのものだからです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています）だからこそ、イエスは自己犠牲的な愛によって本物のクリスチャンを見分けられると言いました。

8-9. 多くの人はエホバの証人の愛を見てどう感じていますか。

8 イエスが言った通り、多くの人が愛によって本物のクリスチャンを見分けています。 イアン兄弟の例を考えてみましょう。兄弟は家の近くの競技場で開かれた大会に初めて出席しました。 その競技場には、数カ月前にスポーツの試合の観戦に行ったことがあります。 兄弟はこう言います。 「この大会は[その試合]とはあまりにも対照的でした。証人たちは身なりがきちんととしていて礼儀正しく、子どもたちも行儀良くしていました。 ……しかも、それらの人は満ち足りた平安な気持ちでいるようでした。それはわたしが切望していたものです。わたしは、その日に行なわれたどの講演も覚えていませんが、証人たちの行状には深い感銘を受けました」。\*「ものの塔」2012年11月1日号13-14ページの「人生はついに目的のあるものとなりました」という記事を参照。私たちが兄弟姉妹に親切にし、敬意を表せるのは、お互いに心から愛し合っているからです。

9 ジョン兄弟も初めてエホバの証人の集会に出席した時、同じような印象を持ちました。こう言っています。 「出席しているどの人からも親しみ深さ……が感じられ、皆が聖人のように思えました。その純粋な愛を見て、これこそ真の宗教だと確信しました」。\*「ものの塔」2012年5月1日号18-19ページの「申し分のない生活のように思えました」という記事を参照。こうした例から、エホバの証人が本物のクリスチャンだということが分かります。

10. どんな時に本物の愛を示す必要がありますか。（脚注も参照。）

10 この記事の最初の方で考えた通り、私たちは誰も完璧ではありません。それで仲間の言動に傷つけられることがあります。 \*この記事で取り上げられているのは、コリント第一6章9、10節「正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをしてはなりません。性的に不道徳な人、偶像を崇拜する人、姦淫をする人、同性愛行為に身を任せた人、同性愛にふける人、<sup>10</sup> 盜む人、貪欲な人、酩酊する人、ののしる人、脅し取る人が神の王国を授けられることはありません」に挙げられているような長老たちが扱う重大な罪ではありません。（ヤコ 3:2 私たちは皆、何度も過ちを犯し(d\*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d\*つまずかない)人がいれば、それは完全な人で、体全体を制御できます）でも、そういう時は本物の愛を示すチャンスです。この点でイエスからどんなことを学べるでしょうか。（ヨハ 13:15 私はあなたたちのために模範を示しました。あなたたちも同じようにするためです）

イエスはどのように使徒たちに愛を示したか



イエスは使徒たちが良くない態度を取った時にも愛情深く接した。 (11-13 節を参照。)

11. ヤコブとヨハネはどんな良くない態度を示してしまいましたか。 (挿絵も参照。)

11 イエスは弟子たちに完璧を求めるとはありませんでした。弟子たちが良くない傾向を正してエホバに喜ばれる人になれるよう、優しく助けました。ある時、使徒のヤコブとヨハネは母親を通して、イエスに王国での目立った立場を求めました。 (マタ 20:20, 21 その時、ゼベダイの息子たちの母親が息子2人と共に、敬意を表しながら、あることを求めようとしてイエスに近づいた。 21 イエスは言った。「願いは何ですか」。母親は言った。「この息子たちがあなたの王国で1人はあなたの右に、1人は左に座れるようにしてください」) 2人は誇りや野心を示してしまったのです。 (格 16:18 誇りは崩壊につながり、傲慢な精神は転落につながる)

12. ほかの10人の使徒たちもどんな良くない態度を示してしまいましたか。

12 この時、良くない態度を示してしまったのは、ヤコブとヨハネだけではありませんでした。ほかの使徒たちの反応についてこう書かれています。「ほかの10人はそのことを聞くと、その2人の兄弟に対して憤った」。 (←マタ 20:24) 使徒たちの間で激しい言葉が飛び交ったことでしょう。ヤコブとヨハネにほかの使徒たちはこう言ったかもしれません。「王国で目立った立場に就こうとするなんて、何様だと思ってるんだ。自分たちだってイエスと一緒に一生懸命働いてきたんだから、王国でいい立場に就けてもらう資格があるはずだ」。いずれにしても、この時、使徒たちは仲間への愛を示し損なってしました。

13. イエスは使徒たちが弱点を表した時、どうしましたか。 (マタイ 20:25-28)

13 では、イエスはどうしたでしょうか。怒ったりはしませんでした。「もっと謙遜で、いつも愛を示せる人を使徒として選び直す」と言うこともありませんでした。使徒たちが本当は正しいことをしたいと思っていることが分かっていたので、辛抱強く教えました。 (マタイ 20:25-28 しかしイエスは弟子たちを呼び、こう言った。「あなたたちは、国々の支配者が威張り、偉い人たちが権威を振るうことを知っています。 26 あなたたちの間ではそうであってはなりません。偉くなりたい人は奉仕者でなければならず、 27 1番でありたい人は奴隸でなければなりません。 28 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました」を読む。) 使徒たちは誰が一番偉いかについて言い合ったことが何度もありましたが、イエスはいつも愛情深く穏やかに接しました。 (マル

9:34 弟子たちは黙っていた。途中で、誰が一番偉いかと言い合っていたからである。ルカ 22:24 ところが、自分たちの中で誰が一番偉いのかについても激しい議論が起きた)

14. イエスの使徒たちが育った背景はどんなものでしたか。

14 イエスは使徒たちが育った背景を理解していました。（ヨハ 2:24, 25 しかしイエスは、その人たちを信用したわけではなかった。人間がどういうものかを知っていたからであり、25人間について誰かに教えてもらう必要はなかったからである。人間の心に何があるかを知っていたのである）当時の宗教指導者たちは地位や立場を重視していました。（マタ 23:6 また、夕食会では最も目立つ場所を、会堂では最も良い座席を好み、マタイ 23:6 の注釈にある「会堂の最も良い座席」の動画も参照。）さらに、独善的な態度を取っていました。\*あるラビはこう言ったとされています。「世界にはアブラハムのような正しい人が少なくとも30人はいる。もし正しい人が30人いるなら、私と私の息子はそのうちの2人である。もし10人なら、私と私の息子はそのうちの2人である。もし5人なら、私と私の息子はそのうちの2人である。もし2人なら、私と私の息子がその2人である。もし1人だけなら、私がその1人である」（ルカ 18:9-12）またイエスは、自分こそ正しいと思って他人をさげすむ人々に次の例えを話した。10 「2人の人が祈りをするために神殿に上りました。1人はパリサイ派の人、もう1人は徴税人でした。11 パリサイ派の人は立って、心の中でこう祈り始めました。『神よ、私がほかの人々のように、脅し取る者、不正な者、姦淫をする者ではなく、この徴税人のようでもないことを感謝します。12 私は週に2回断食をし、得る物全ての10分の1を納めています』）イエスは、使徒たちの自分や他の人にに対する見方が宗教指導者たちの影響を受けていることをよく知っていました。（格 19:11 洞察力があればすぐに怒ることはない。過ち(\*違反)を見過ごす(d\*通り過ぎる)人は美しい）イエスは使徒たちにできる以上のこと求めたり、何か失敗した時にすぐに怒ったりはしませんでした。使徒たちの良い心に目を向け、誇りや野心を乗り越えて愛を示せるように助けました。

## イエスにどのように倣えるか

15. 使徒たちの間で起きた出来事から、どんなことを学べますか。

15 このエピソードからどんなことを学べるでしょうか。ヤコブとヨハネが王国で目立った立場に就こうとしたのは間違ったことでした。でも、ほかの10人が2人に腹を立てて一致を壊してしまったのも良くありませんでした。一方、イエスは使徒たちみんなに愛情深く穏やかに接しました。確かに、仲間が失敗や間違いをすることもありますが、そういう時にどういう反応をするかが大切です。次のように考えてみてください。「自分がこんなに腹を立てているのはどうしてだろう。こういう反応をするのは、自分に何か足りないところがあるということだろうか。自分を傷つけたあの人は何か大変な問題と闘っているんだろうか。たとえ相手に落ち度があるとしても、愛を示して許すことができるだろうか」。仲間に愛情深く接するなら、イエスの本物の弟子であることを示すことができます。

16. イエスからほかにもどんなことを学べますか。

16 イエスから、仲間を理解することの大切さも学べます。（格 20:5 人の心の考え(\*意図)は深い所にある水のようだ。識別力のある人はそれをくみ上げる）もちろん、私たちはイエスのように心を読むことは

できません。それでも仲間の弱さを思いやることはできます。（エフェ 4:1, 2 主のゆえに捕らわれている私は皆さんに勧めます。招かれた人にふさわしい歩み方をし、2いつも謙遜で(\*自分を低く見て)温和であり、辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください。ペテー 3:8 最後に、皆が、一致した考え(\*同じ考え方)、仲間をいたわる気持ち、兄弟愛、温かい思いやりを持ち、謙遜であってください）そうする上で、相手の背景を知ることは役立ちます。1つの例を考えてみましょう。

17. ある旅行する監督は、仲間をよく知るようにしてどんな良い結果になりましたか。

17 東アフリカで旅行する奉仕をしていたある兄弟は、気に障る言動をする兄弟にどう接したでしょうか。こう言っています。「その兄弟を避けるのではなく、もっと知るようになりました」。そうすると、生い立ちがその兄弟の性格に大きな影響を与えているということが分かりました。さらにこう言っています。「兄弟が生い立ちの影響を乗り越えるためにどれほど頑張ってきたかを知って、本当に立派だと思いました。私たちは良い友達になりました」。兄弟姉妹のことをもっとよく知るようにするなら、愛を示しやすくなるでしょう。

18. 仲間から傷つけられた時、どんなことを考えるとよいですか。（[格言 26:20](#)）

18 自分を傷つけた相手と話し合った方がいいと思うことがありますか。そういう時にも、まずは次のように考えてみましょう。「①自分は事実を十分に知っているだろうか」。（[格 18:13](#) 聞かないうちに返事をする人は、愚かであり、辱められる）「②悪気はなかったんじゃないだろうか」。（[伝 7:20](#) 常に善を行って罪を犯さない正しい人は、地上に一人もいない）「③自分も同じようなことをしてしまったことがあるだろうか」。（[伝 7:21, 22](#) また、人々が話す言葉一つ一つを心に留めてはならない。さもないと、あなたは、召し使いがあなたに不幸が生じることを願うのを聞くだろう。22 あなたは、自分が何度も、他の人たちに不幸が生じることを願ったのをよく知っている）「④話し合いに行くと、問題がもっと大きくなってしまわないだろうか」。（[格言 26:20](#) まきがなければ火は消え、中傷する人がいなければ言い争いはやむを読む。）こうしたことを時間をかけて考えるなら、愛を示して水に流そうと思うかもしれません。

19. どんなことを努力したいと思いますか。

19 エホバの証人はグループとして、イエスの本物の弟子であることを示しています。私たちは個人としても、仲間の失敗や欠点を許し、愛を示すことによって、本物のクリスチヤンであることを示せます。こうした様子を見た人たちは本物の宗教だと感じ、愛の神であるエホバと一緒に崇拜するようになるかもしれません。では、クリスチヤンの特徴である愛をこれからも示していきましょう。

## どのように答えますか

### 1. イエスの本物の弟子が愛によって見分けられる、と言えるのはどうしてですか

- ・S05 イエスの弟子たちの間に見られる愛は特別なもので、自己犠牲的な、仲間のために命を差し出すほどの強い愛だから。
- ・S06 愛を身に着けて示すことがとても大切だから。
- ・S07 本物の愛はエホバからのものなので、国を超えて互いに愛し合う人たちのグループをつくることはできるのはエホバだけで、サタンにはできない。それで、イエスは自己犠牲的な愛によって本物のクリスチヤンを見分けられると言った。
- ・S08 私たちが兄弟姉妹に親切にし、敬意を表せるのは、お互いに心から愛し合っているから。

### 2. イエスはどのように使徒たちに愛を示しましたか。

- ・S11 イエスは弟子たちに完璧を求めるではなく、弟子たちが良くない傾向を正してエホバに喜ばれる人になれるよう、優しく助けた。
- ・S12-13 王国で目立った立場に就くことや1番であることを臨んだ使徒たちを、怒ったり、もっと謙遜で、いつも愛を示せる人を使徒として選び直すこともしなかった。使徒たちが本当は正しいことをしたいと思っていることが分かっていたので、辛抱強く教えた。またいつも愛情深く穏やかに接した
- ・S14 イエスは、使徒たちの自分や他の人にに対する見方が宗教指導者たちの影響を受けていることを知っていたので、使徒たちにできる以上のこと求めたり、何か失敗した時にすぐに怒ったりはしませんでした。使徒たちの良い心に目を向け、誇りや野心を乗り越えて愛を示せるように助けた。

### 3. イエスにどのように倣えますか。

- ・S15 仲間が失敗や間違いをすることがある時にどういう反応をするかが大切で、そういう時でも仲間に愛情深く接するなら、イエスの本物の弟子であることを示せる。
- ・S16 イエスから、仲間を理解することの大切さも学ぶ。私たちはイエスのように心を読むことはできなくても、仲間の弱さを思いやることはできる。そうする上で、相手の背景を知ることは役立つ。
- ・S17 例え仲間に傷つけられても、兄弟姉妹のことをもっとよく知るようにするなら、愛を示しやすくなる。

#### 17番の歌 「そう望みます」

△エホバの証人がお互いに愛を示しているのを見て、聖書の真理を学びたいと思った人は大勢います。でも私たちも完璧ではないので、兄弟姉妹に愛情深く接するのを難しく感じことがあります。では、愛がとても大切なのはどうしてでしょうか。仲間の欠点や弱点が気になる時、どうすればイエスに倣って愛を示せるでしょうか。

△「来て、わたしの追随者になりなさい」の本の第17章10-11節を参照。

△「ものの塔」2012年11月1日号13-14ページの「人生はついに目的のあるものとなりました」という記事を参照。